

県内の少年非行(平成30年7月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成29年は確定値、平成30年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成30年7月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は1,301人で前年同期(1,304人)に比べて3人(0.2パーセント)減少、不良行為少年は10,365人で、前年同期(18,949人)に比べて8,584人(45.3パーセント)減少している。

区分	年別	平成30年	平成29年	増減		
		7月末	7月末	人員	率(%)	
非 行 少 年	犯罪少年	771	809	-38	-4.7	
	触法少年	275	263	12	4.6	
	計	1,046	1,072	-26	-2.4	
	特別法 犯	犯罪少年	119	109	10	9.2
	触法少年	38	42	-4	-9.5	
	計	157	151	6	4.0	
	ぐ犯少年	98	81	17	21.0	
合計	1,301	1,304	-3	-0.2		
不良行為少年		10,365	18,949	-8,584	-45.3	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成30年7月末		平成29年7月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
刑法犯少年		1,046	100	1,072	100	-26	-2.4
凶悪犯		17	1.6	9	0.8	8	88.9
粗暴犯		189	18.1	198	18.5	-9	-4.5
窃盗犯		583	55.7	629	58.7	-46	-7.3
知能犯		36	3.4	17	1.6	19	111.8
風俗犯		21	2.0	25	2.3	-4	-16.0
その他		200	19.1	194	18.1	6	3.1
うち占離		72	6.9	86	8.0	-14	-16.3

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成30年7月末		平成29年7月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		1,046	100	1,072	100	-26	-2.4
未就学							
小学生		115	11.0	128	11.9	-13	-10.2
中学生		363	34.7	344	32.1	19	5.5
高校生		284	27.2	314	29.3	-30	-9.6
その他学生		49	4.7	42	3.9	7	16.7
有職		155	14.8	158	14.7	-3	-1.9
無職		80	7.6	86	8.0	-6	-7.0

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成30年7月末		平成29年7月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		515	100	570	100	-55	-9.6
万引き		287	55.7	290	50.9	-3	-1.0
オートバイ盗		60	11.7	69	12.1	-9	-13.0
自転車盗		96	18.6	125	21.9	-29	-23.2
占有離脱物横領		72	14.0	86	15.1	-14	-16.3
刑法犯少年に占める率(%)		49.2	—	53.2	—	-4.0	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の13.9パーセント(前年同期比-1.2ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の55.7パーセントを占め、次いで粗暴犯の18.1パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(6,214人)と深夜はいかい(2,995人)が全体の88.8パーセントを占めている。